



田中園子 写真の仕事 — Tanaka Sonoko Works of Photography —
2017年9月16日(土)～10月15日(日) 奈義町現代美術館ギャラリー
Nagi MOCA



B2 ポスター



A4 フライヤー



角3 封筒



B3 ポスター (宇野バス車内掲載用)

DESIGN WORKS

写真家・田中園子 / エキシビジョン、ブランディング & 写真集デザイン

アートにおけるデザインの役割について

— 売れる作家に近づくための第一歩、自身のブランディング —

田中雄一郎 / ブランディングディレクター、グラフィックデザイナー

アートとデザインの違いについてではない。今回はアート(作家の創作活動)におけるデザインの役割について書く。それはつまり、「売れる作家に近づけること」。そう言うと世俗的、商業的で芸術を軽視していると批判されそうだが、言葉の真意は作家と作品の良さや魅力をできるだけ多くの人に伝え、価値を共有してもらうことである。ときに作家は売るために作品を作っている訳ではないなどと妙なことをいう。また良い作品を作っていれば放っておいても売れる。と幻想を抱く。作れば自然と作品が売れる作家がいるのは確かだ。でもそれは天才と呼ばれる極々わずかな人達の話で、99.99%の作家はそうではないはず。

プロとして作家活動をしている以上、作品は自己満足でいい訳がない。作家も一人のビジネスマンとして自覚するべきである。存在をきっちり社会に示し、作品の価値をお金に変え生計を立てなければならない。そのためには作家自身のブランディングが必要で、作品の価値を高める知略が必要である。本誌の写真を担当している写真家・田中園子の個展などのビジュアルデザイン。デザインは基本的に写真をメインに装飾はなく、文字も最小限にして彼女の世界観を際立たせている。デザイナーにデザインを依頼するとデザイナー色に染まるのではないかと疑念を抱かれることがある。そういったデザイナーがいるのも確かだし、時には世界観を過剰演出することもある。しかし本来デザイナーの役割とは作家の世界観と作品の良さを即物的に捉え、最良の形で伝えることである。表現する上で細部へのこだわりという意味での「作家性」は必要だが、エゴとしての「作家性」は当然不要だ。こうした広報物のデザインから作家の好感度、認知度を高め、作品の価値向上につながるケースが多々ある。外見は一番外側の中身であると言われる通り、広報物のデザインには作家のプロ意識レベルやセンス、作風などが投影され、可視化される。だから決して侮れない。

そしてデザインが良ければ、誰もが勝手に宣伝してくれる。チラシを置いてもらいやすくなり、スペースを取るポスターだって貼ってもらいやすくなる。やはり自分のイメージも良くなるものを近くに置いておきたいのが人間の心理のようだ。ギャラリストや学芸員なども同じだろうし、作品を購入してくれるコレクターも然り。こうした流れを産むことがまさにブランディングだ。もちろん、作家の人間性と作品の力が根底にあってのことだが。倦まず弛まず修練を重ね、作品を創り続けていれば、作家人生を大きく左右する人との出会いは必ずある。経験上、ブランディングや広報物のデザインが突破口となる関門もある。突然やってくるその素敵な出会いのために、一念準備しておく必要がある。田中園子がそうであったように。

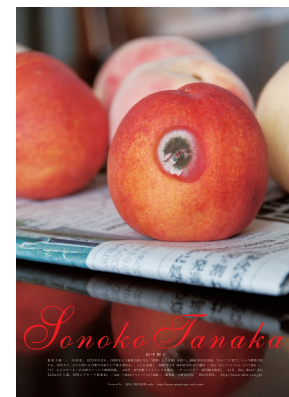
AD・D / 田中雄一郎 DF / QUA DESIGN style



写真集「田中園子 写真」©2017 発行・クオデザインスタイル



書籍「コーヒーのほかに撮った写真集」©2017 発行・クオデザインスタイル



グループ展「For Rent For Talent3 (2007年)」
福岡・天神 三菱地所アルテアム



個展「主婦の日常 (2007年)」
ルネスホール・公文庫カフェ



個展「写真 建築の気配 (2013年)」ルネスホール・公文庫カフェ フライヤー&ポスター

田中雄一郎 / Yuichiro Tanaka

QUADESIGN style (クオデザインスタイル) 代表

www.quadesign-style.com

1975年岡山市生まれ。立命館大学理工学部卒業後、都市計画コンサルタントを経て、2004年妻・園子とともにQUA DESIGN style(クオデザインスタイル)設立。同時にデザインを独学。現在岡山を拠点に活動し、企業、店舗、農園、医療施設、美術展などのブランディングデザインを中心に手掛ける。主な仕事に岡山大学のコミュニケーションシンボルデザイン&VI、福武教育文化振興財団のCI、ルネスホールのVI、まび記念病院のHI、岡山後楽園バスの総合デザインなど。2015年4月渋谷ヒカリエ・d5 MUSEUMで開催されたナガオカケンメイ氏プロデュース「NIPPONの7人2015 GRAPHIC DESIGN」展に岡山県代表として選出。また国立台湾科技大学で開催された「2016漢字デザインビエンナーレ」に招待作家として出品。東京TDC賞PrizeNominee、JAGDA賞ノミネート、ほか東京ADC、SDA、APAアワード、世界ポスタートリエンナーレトヤマ2015、中国国際ポスタービエンナーレ2013など入選。共著に「ロゴデザインの現場—事例で学ぶデザイン技法としてのブランディング」(MdNコーポレーション)